様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	藤田医科大学
設置者名	学校法人　藤田学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間･通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
医学部	医学科	夜・通信	0	0	143.5	143.5	19	
医療科学部	医療検査学科 臨床検査学 プログラム	夜・通信		9	60	69	13	
	医療検査学科 臨床工学 プログラム	夜・通信			60	69	13	
	放射線学科	夜・通信			59.5	68.5	13	
保健衛生学部	看護学科	夜・通信		0	118	118	13	
	リハビリテーション学科理学療法専攻	夜・通信			58	58	13	
	リハビリテーション学科作業療法専攻	夜・通信			58	58	13	

（備考）

◆医学部医学科

1 年生 2.5 単位、2 年生 8 単位、3 年生 39.5 単位、4 年生 16.5 単位、5 年生 0 単位、6 年生 12 単位、4～5 年 65 単位

◆医療検査学科臨床検査学プログラム（臨床検査技師養成プログラム）

1 年生 9 単位、2 年生 21 単位、3 年生 29 単位、4 年生 10 単位

◆医療検査学科臨床工学プログラム（臨床工学技士養成プログラム）

1 年生 9 単位、2 年生 19 単位、3 年生 24 単位、4 年生 17 単位

◆**放射線学科**
1 年生 9 単位、2 年生 18 単位、3 年生 36.5 単位、4 年生 5 単位
※医療検査学科・放射線学科については、2022 年 4 月より新カリキュラムのため、1・2 年生は新カリキュラム、3・4 年生は旧カリキュラムです。
◆**看護学科**
1 年生 25 単位、2 年生 35 単位、3 年生 36 単位、4 年生 22 単位
◆**リハビリテーション学科理学療法専攻**
1 年生　17 単位、2 年生　20 単位、3 年生　17 単位、4 年生　4 単位
◆**リハビリテーション学科作業療法専攻**
1 年生　17 単位、2 年生　20 単位、3 年生　17 単位、4 年生　4 単位

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

藤田医科大学ホームページにて公表
【医学部】https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/syllabus/
【医療科学部】https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/health-sciences/syllabus.html
【保健衛生学部】https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/healthcare/syllabus.html

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	藤田医科大学
設置者名	学校法人　藤田学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

藤田学園ホームページにて公表 https://academy.fujita-hu.ac.jp/about/officer.html

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医院開業	2021.10.2 ～ 2024.10.1	標準的一般診療
非常勤	元)総合病院　院長	2021.10.10 ～ 2024.10.9	科学研究
非常勤	元)自動車会社　顧問	2021.10.10 ～ 2024.10.9	経営
非常勤	看護大学　学長	2022.4.1 ～ 2025.3.31	研究
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	藤田医科大学
設置者名	学校法人　藤田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

【医学部】

学生の卒業時における質の確保を図るため、卒業認定・学位方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、当該授業科目との整合性・関連(役割)に基づいた授業計画と科目間の繋がりを示す「カリキュラムマップ」を作成、科目ごとに講義の目的を示す「教育目標」、身につける能力を示す「学修目標」および講義毎の「到達目標」、「評価方法」および「評価基準」、課題の「フィードバックの方法」、「講義形式」、「事前事後学修の時間数と内容」、「オフィスアワー」、等を明示しシラバスに反映している。
シラバスの作成においては、整合性・妥当性・適切性等について教務委員長による第三者チェック行っている。
作成したシラバスは、藤田医科大学ホームページ及び学生ポータルサイトで公開している。またシラバスの作成方法に関する FD を実施している。

【医療科学部】

学生の卒業時における質の確保を図るため、卒業認定・学位方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、当該授業科目との整合性・関連(役割)に基づいた「授業計画書 (シラバス)」および各授業科目間の対応関係や履修・学修における道筋を示した「履修系統図」を作成している。
また、各講義の「到達目標」、「評価方法」および「評価基準」、課題の「フィードバックの方法」、「講義形式」、「事前事後学修時間とその内容」、「オフィスアワー」等をシラバスに明示している。
シラバスの作成においては、シラバスの作成方法に関する FD を実施している。また、分野長及び教務委員にて、編集上のチェックに留まらず、カリキュラム方針に基づき各科目の内容が適正であるか第三者チェックを行っている。
作成したシラバスは、藤田医科大学ホームページ及び学生ポータルサイト(学生向け学務情報提供サイト)で毎年、年度始めに公開している。

【保健衛生学部】

学生の卒業時における質の確保を図るため、卒業認定・学位方針(ディプロマー・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、当該授業科目との整合性・関連(役割)に基づいた授業計画と図示した「履修系統図」を作成、科目ごとに講義の目的を示す「教育目標」、身につける能力を示す「学修目標」および講義毎の「到達目標」、「評価方法」および「評価基準」、課題の「フィードバックの方法」、「講義形式」、「事前事後学修の時間数と内容」、「オフィスアワー」、等をシラバスに明示している。

シラバスの作成においては、シラバスの作成方法に関する FD を実施している。また、各学科長及び教務委員にて、編集上のチェックに留まらず、カリキュラム方針に基づき各科目の内容が適正であるか第三者チェックを行っている。 作成したシラバスは、藤田医科大学ホームページ及び学生ポータルサイト(学生向け学務情報提供サイト)で毎年、年度始めに公開している。	
授業計画書の公表方法	藤田医科大学ホームページで公表 **【医学部】**https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/syllabus/ **【医療科学部】**https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/health-sciences/syllabus.html **【保健衛生学部】**https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/healthcare/syllabus.html

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

【医学部】

学生の評価についての原理、方法および実施について、藤田医科大学学則(P7、第27条～第30条)、藤田医科大学医学部規定(P13、第5条～第7条)、藤田医科大学医学部学生心得および規程(第6章第23条～第34条)、各学年のシラバスに記載されている。

履修科目は100点満点で採点され、S(90点以上100点以下),A(80点以上90点以下)、B(70点以上80点未満)、C(60点以上70点未満)、D(60点未満)で評価し、60点以上が合格である(藤田医科大学医学部規程第5条)。

また、履修科目の成績判定には、試験の成績に受講および実習態度を加味して判定する(藤田医科大学医学部学生心得および規程第31条)。試験の方法は筆答、口答、レポート提出、実地試問等である(同第26条)。

各科目の成績判定方法は、各学年のシラバスに明示し、各々の到達目標、評価法、評価基準に基づき学修成果を測定し、厳格かつ適正に単位を授与している。

【医療科学部・保健衛生学部】

授業計画(シラバス)に記載している到達目標、評価法、評価基準に基づき、学修成果を測定している。

(到達目標)授業科目を学生が学修することにより成果として得られる知識・理解、思考・判断、関心・意欲、技能・表現などの面での到達目標を授業計画(シラバス)に記載している。また、学修可視化システム（Assessmentor）を利用して、学年ごとに学生自身が到達目標を設定、その目標に対する自己評価を実施している。明確な目標に対する成果を学生自身が評価・測定した内容を確認、共有することで学修への意欲や到達度を把握している。

(評価法)授業科目の成績(評価点)は、到達目標に対する達成の度合いを示している。その度合いをどのような手法で測定するのかを表す評価手法・種別(定期試験、実技試験、受講態度、小テスト、レポート等)と、それぞれが最終評価に占める割合(%)を授業計画(シラバス)に記載している。

(評価基準)到達目標に対して、どの評価方法を用いて到達度を測るか、さらに達成の度合いを測定するポイントなどを授業計画(シラバス)に記載している。

また、藤田医科大学学則(第27条～第30条)及び、医療科学部規程、保健衛生学部規程に則って、厳格かつ適正に評価して単位授与している。なお、履修科目は100点満点で採点され、S(90点以上100点以下),A(80点以上90点未満)、B(70点以上80点未満)、C(60点以上70点未満)、D(60点未満)で評価し、60点以上が合格である。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

【医学部】

個々の学生の成績が各学年において、どの位置にあるのか把握できるよう、授業科目ごとの成績評価を点数に換算し、それらの平均点を求める仕組みを導入している。１科目だけ及第点に届かず進級が危ぶまれる場合でも、その他の科目が優秀であるケースについては、GPA も考慮した進級判定を行うことで客観的に学生を評価し、学生本人のモチベーションを維持することが可能になっている。これにより、教員の恣意的評価の抑制効果もある。GPA の算出方法は以下の通りであり、各学年のシラバスに明記し、ホームページ上で公表している。

＜算出方法＞

評価	GP	成績
S	4	90 点～100 点
A	3	80 点～89 点
B	2	70 点～79 点
C	1	60 点～69 点
D	0	60 点未満
F	0	無資格

$$GPA = \frac{\text{［科目の単位数×当該科目の GP］の合計}}{\text{科目の単位数合計（D,F を含む）}}$$

【医療科学部】

各学生の成績が在籍する学科・学年において、どの位置にあるのか把握することができるよう、全履修科目の成績評価を点数化(100 点満点)し、全履修科目の合計点の平均を算出、順位付けを行っている。また、GPA の活用により、学生の学修意欲を高めるとともに、本学における教育の質の保証について一層の具体化を進め、適切な修学指導を資することを目的とし、GPA を導入している。

なお、評価及び GP の算出方法については以下のとおり。

評語	GP（評価点）	100点満点での評点範囲	評価基準
S	4	100 ～ 90点	到達目標を達成し、極めて優秀な成績を おさめている
A	3	89 ～ 80点	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている
B	2	79 ～ 70点	到達目標を達成している
C	1	69 ～ 60点	到達目標を最低限達成している
D	0	60点未満	到達目標を達成していない
F	0	無資格科目	科目授業時間数の3分の1以上を欠席した科目
N	－	認定科目	他大学等で修得した単位を本学において 修得したものとみなすと判断された科目

$$GPA = \frac{\text{(Sの修得単位数×４)＋(Aの修得単位数×３)＋(Bの修得単位数×２)＋(Cの修得単位数×１)＋(D,Fの単位数×０)}}{\text{総履修登録単位数※}}$$

※D,Fの単位数も含む

また、GPA については、授業計画(シラバス)及び学生便覧において、公表している。

成績分布の状況把握については、本学は IR 推進センターを設置しており、学生の成績分布状況を含め、あらゆる教学面の分析を学部教員とともに推進している。

【保健衛生学部】

各学生の成績が在籍する学科・学年において、どの位置にあるのか把握することができるよう、全履修科目の成績評価を点数化(100 点満点)し、全履修科目の合計点の平均を算出、順位付けを行っている。また、GPA の活用により、学生の学修意欲を高めるとともに、本学における教育の質の保証について一層の具体化を進め、適切な修学指導を資することを目的とし、GPA を導入している。

なお、評価及び GP の算出方法については以下のとおり。

評語	GP (評価点)	100点満点での評点範囲	評価基準
S	4	100～90点	到達目標を達成し、極めて優秀な成績をおさめている
A	3	89～80点	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている
B	2	79～70点	到達目標を達成している
C	1	69～60点	到達目標を最低限達成している
D	0	60点未満	到達目標を達成していない
F	0	無資格科目	科目授業時間数の３分の１を超えて欠席した科目
N	－	認定科目	他大学等で修得した単位を本学において修得したものとみなすと判断された科目

$$GPA = \frac{(S\text{の修得単位数}\times 4)+(A\text{の修得単位数}\times 3)+(B\text{の修得単位数}\times 2)+(C\text{の修得単位数}\times 1)+(D,F\text{の単位数}\times 0)}{\text{総履修登録単位数（D、Fの単位数も含む）}}$$

また、GPA については、授業計画書(シラバス)及び学生便覧において公表している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	藤田医科大学ホームページで公表 **【医学部】** https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/syllabus/dubv6r0000001bpn-att/j93sdv0000002jcd.pdf **【医療科学部】** https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/health-sciences/binran.html **【保健衛生学部】** https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/healthcare/syllabus.html

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

【医学部】

大学の教育理念に基づき、卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を策定し、卒業認定に関する方針の具体的な内容及び適切な実施については、「藤田医科大学学則」に則って医学部の定める授業科目をすべて履修し、卒業試験のほか医学部の指定する試験に合格した者に卒業資格を与えている。卒業試験は、その試験の難易度や、その他一切の事情等を総合的に評価した上で合否を判定する。

卒業認定に関する方針は、各学年のシラバスに明記され、ホームページ及び学生ポータルサイト上で公表している。

【医療科学部・保健衛生学部】

大学の教育理念に基づき、卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を策定している。

卒業の認定に関する方針の具体的な内容及び適切な実施については、藤田医科大学学則に則って行っており、卒業要件（卒業必須単位）等、総合的に評価し、教授会において卒業認定を行い、学長に承認を得ている。

また、卒業認定に関する方針の公表については、藤田医科大学学則を藤田医科大学ホームページ及び学生ポータルサイト（学生向け学務情報提供サイト）にて公表している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	藤田医科大学ホームページで公表 **【医学部】** https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/syllabus/dubv6r0000001bpn-att/j93sdv0000002jcd.pdf **【医療科学部】** https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/health-sciences/about.html **【保健衛生学部】** https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/healthcare/about.html

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	藤田医科大学
設置者名	学校法人　藤田学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	藤田学園ホームページで公表 https://academy.fujita-hu.ac.jp/disclosure/enterprise.html
収支計算書又は損益計算書	藤田学園ホームページで公表 https://academy.fujita-hu.ac.jp/disclosure/enterprise.html
財産目録	藤田学園ホームページで公表 https://academy.fujita-hu.ac.jp/disclosure/enterprise.html
事業報告書	藤田学園ホームページで公表 https://academy.fujita-hu.ac.jp/disclosure/enterprise.html
監事による監査報告（書）	藤田学園ホームページで公表 https://academy.fujita-hu.ac.jp/disclosure/enterprise.html

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.fujita-hu.ac.jp/about/appraisal.html

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　**医学部**
教育研究上の目的 （公表方法：藤田医科大学ホームページで公表） https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/syllabus/dubv6r0000001bpn-att/j93sdv0000002jcd.pdf
（概要） 藤田医科大学は、建学の理念に「独創一理」を掲げています。「独創一理」とは「独創的な学究精神を堅持して真理を探究し、おおらかな誇りを持ち、感激性に富む、個性豊かな人格を形成する」ことをめざすものです。本学医学部は、患者さん中心のチーム医療の担い手として、リサーチマインドと国際的視野を有する人間性豊かな「良き臨床医」の育成をめざしています。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：藤田医科大学ホームページで公表）） https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/outline.html
（概要） 藤田医科大学医学部は、「独創的な学究精神を持った謙虚で誠実な医師」となるため、所定の課程を修め医学部卒業コンピテンス・卒業コンピテンシーに定める能力を身につけた者に対して、学士（医学）の学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：藤田医科大学ホームページで公表） https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/outline.html
（概要） 藤田医科大学医学部は、以下の方針に基づいてカリキュラムを作成し、実施する。 １．建学の理念である独創一理を体現する学生を養成するため、卒前から卒後に至るまで一貫した、学習成果基盤型の医学教育を行う。 ２．段階的な教育を行うため、カリキュラムを以下の３つの課程に分ける ① 医・人間学系では、準備教育として自発的に学習に取り組む技術と能力の修得、並びにコミュニケーション能力の向上や多様な価値観及び文化の理解に繋がる教育を行う。 ② 基礎系では、生命科学であると同時に臨床医学の根幹を成す基礎医学教育を行う。 ③ 臨床系では、卒業時に十分な臨床能力の修得を目指した参加型臨床実習を中心とする多様な形態の教育を行う。 ３．医療人としてのプロフェッショナリズムを確立するため、準備教育から臨床過程に至るまで、学習段階に応じて繰り返し学ぶ学習プログラムを実施する。 ４．準備教育から基礎、基礎から臨床など課程をまたいで教育される項目については垂直的に統合した教育プログラムを実施する。 ５．複数の専門分野が取り扱う項目については、教育プログラムを水平的に統合して学習効率を高める。 ６．医療チームのリーダーたりうる資質を備えるべく、専門職連携を学習する機会を持つ。 ７．地域に貢献する医療人としての見識を備えるため、社会的及び国際的な観点から医療を考える機会を持つ。 ８．科学的探究心の涵養のため、医学研究や最新の知見を学習する教育プログラムを実施する。

9．カリキュラムの作成には教育専門家が関与し、その学識を教育技法や評価方法の開発に利用する。
10．カリキュラムは人口動態や科学技術の進歩などの社会背景の変化とその予測に応じて改定する。
11．カリキュラムは、性、人種、宗教、性的指向、社会経済的状況、身体能力等によって差別されることなく、等しく提供される。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：藤田医科大学ホームページで公表）
https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/medicine/outline.html

（概要）
１．「独創的な学究精神をもった謙虚で誠実な医師」の育成を使命とする藤田医科大学医学部は、卒業までに身につける能力として卒業コンピテンス・卒業コンピテンシーを定めました。本学でこれらを達成するために必要な能力・資質を有する者として、以下のような人の入学を求めています。
（ア）藤田医科大学医学部および藤田医科大学病院の理念を理解し、その発展のために尽くす決意のある人
（イ）地域の健康と福祉に貢献する熱意を有し、そのための努力を怠らない人
（ウ）職業人として長く社会に貢献する意思のある人
（エ）他の医療専門職と連携して、患者および地域住民の健康問題を解決するため、主体性を持って多様な人々と協働して学び、行動しようとする姿勢を有する人
（オ）誠実で協調性に優れ、柔軟な心と広い視野を持つ人間性あふれる人に成長していくための素直な心を持ち、努力を続けられる人
（カ）自律的に自らの健康管理、社会規範の遵守ができ、計画的な行動と多面的かつ慎重な判断ができる人
（キ）以下に代表される多面的で高い学力を有する人
英語：英語で記述された教科書や医学論文等を理解し、海外での臨床実習や国内外の国際的状況において十分なコミュニケーションが取れるようになっていくために必要な基礎的英語力
数学：論理的、数量的な思考が十分可能であることを示す数学力
国語：人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言語を通して円滑に相互伝達、相互理解を進めていくのに十分な国語能力と、問題を解決しようとする創造的かつ論理的な思考力
理科：自然に対する関心と探究心、観察力および実験能力を前提とした深い理解とそれらによって培われた科学的態度
地理歴史・公民：
多様な価値観を有する国際社会において主体的に生きることや、生を尊べる平和で民主的な社会を形成するための資質と自覚に繋がる社会科の能力
２．性、人種、宗教、性的指向、社会経済的地位、身体能力の如何によって、入学に関する優先性が影響されることはありません。

学部等名　　**医療科学部**

教育研究上の目的
（公表方法：藤田医科大学ホームページで公表）
https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/health-sciences/about.html

（概要）
本学の建学理念である「独創一理」を踏まえ、人間の生命を尊重する倫理観と心豊かな幅広い人間性を培い、臨床検査学、臨床工学、及び放射線学の知識・技術の修得をもとに、科学的探究心を養い、それぞれの分野で社会に貢献できる人材を育成する。

卒業の認定に関する方針
（公表方法：藤田医科大学ホームページで公表）
https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/health-sciences/about.html

（概要）
医療科学部は、本学の建学の理念および学部・学科が掲げる人材の養成に関する目的に基づき、各学科で所定の課程を修め、以下に示す５つの力を身につけた者に学士の学位を授与する。

課題を解決する力
１）　幅広い教養ならびにそれぞれの専門分野の基本的な知識と技術をもち、それを論理的に活用するために管理し、正確な情報を読み解き課題を解決する力を身につけている。

連携する力
２）　医療に関係する専門職の担い手やその恩恵に預かる人々すべてを尊重して、お互いが手を取り合い、良き医療を実践するための基本的能力を身につけている。

自律して達成する力
３）　倫理観をもっておおらかで他者を慈しみ、目的のために自身を評価・判断して行動できる能力を身につけている。

社会に貢献する力
４）　社会の一員として自らの役割を認識し、そこに住まう人々が健康と医療に満足できるように使命感をもって行動し、多様な社会に貢献する能力を身につけている。

創造する力
５）　多面的に観察・分析することにより新たな問題を発見し、それらを解決するために科学的な探究と創造的な取り組みができる能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：藤田医科大学ホームページで公表）
https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/health-sciences/about.html

（概要）
医療科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した５つの力を身につけるために段階的・体系的な教育課程を編成する。
授業は講義・演習・実験・実習・実技の様々な方法・形態等により行い、学生が主体的・能動的に学ぶことを目的とする。
学修成果は、あらかじめ明示した学修目標に即して総合的に評価する。教育の内容・方法・効果に対する組織的な評価と検証を行い改善に努める。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：藤田医科大学ホームページで公表）
https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/health-sciences/about.html

（概要）

医療科学部は、本学の建学の理念に共感し、医療に誠実に携わることを望むものを広く受け入れる。

1）健康・保健医療およびその関係する分野に高い関心をもつもの

2）心豊かな人間性と幅広い教養を育み、主体性をもって他者と協働して課題に取り組む志のあるもの

3）専門的な知識や技術を活かして、組織や国内外の社会に貢献しようとする志のあるもの

入学試験は多様な素養を評価するため、複数の受験機会を提供する。なお、性、人種、宗教、性的指向、社会経済的地位や身体能力は評価しない。

（禁煙への取り組み）

藤田医科大学では、人々の健康を守る医療職者を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

学部等名　**保健衛生学部**

教育研究上の目的
（公表方法：藤田医科大学ホームページで公表
https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/healthcare/about.html#hdg4）

（概要）
本学の建学理念である「独創一理」を踏まえ、人間の生命を尊重する倫理観と心豊かな幅広い人間性を培い、協調性と責任感をもって、看護学、リハビリテーション学各分野の知識・技術の習得をもとに、課題探求能力を育成し、専門的素養のある人材として社会に貢献できる人材を育成する。

卒業の認定に関する方針
（公表方法：藤田医科大学ホームページで公表
https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/healthcare/about.html#hdg4）

（概要）
保健衛生学部は、看護学、理学療法学、作業療法学の専門的教育と研究の過程を経て、以下のような能力と素養を身につけた学生に対して学士の称号を与えます。

（知識・理解）
1）医療人としての専門分野の学修内容について知識を修得している。
2）人間性や倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけている。

（思考・判断）
3）対人の身体的・心理的・社会的な健康状態を科学的に評価するための情報の統合と適確な判断が行え、必要な行動を示すことができる。
4）国際的視野に立ち、課題を解決する行動をとることができる。

（興味・関心）
5）科学の進歩および社会の医療ニーズの変化に適応し、生涯を通して自らを成長させることができる。

（態度）
6）対人の健康の維持・増進と健康障害からの回復に寄与するため、医療人として責任をもった行動をとることができる。

（技能・表現）
7）専門的な技能を、対人に適確かつ安全に提供することができる。
8）患者や家族とコミュニケーションをとり、保健・医療・福祉チームのメンバーと良好な関係を築き、チームの一員として役割を果たすことができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：藤田医科大学ホームページで公表）
https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/healthcare/about.html#hdg4

（概要）
保健衛生学部の教育目標として、以下の 3 点を掲げています。
1）人間の健康と生命を護る役割を自覚して知識や経験を身に付け、社会の変化や医療の進歩に対応できる人材を育成する。
2）自ら課題を発見して解決する探究心を養い、医療技術の発展に寄与できる人材を育成する。
3）医療に従事する者としての責任感と協調性を養い、チーム医療に貢献できる人材を育成する。

この 3 つの目標を念頭に、看護学科、リハビリテーション学科において、それぞれの特性を活かした教育課程を編成しています。
特に項目 3）の推進のために、藤田医科大学の医学部、医療科学部、保健衛生学部が連携してグループ別に特別教育活動を展開する「アセンブリ」を導入しています。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：藤田医科大学ホームページで公表 ）
https://www.fujita-hu.ac.jp/faculty/healthcare/j93sdv0000002gip-att/j93sdv00000053zz.pdf

（概要）
保健衛生学部では、本学が育成しようとする「医療人」となることを目指す入学者に対して、次のような素養を求めています。

（知識・理解・思考・判断）

1)入学後の修学に必要な基礎学力と学ぶ力を有している。
（態度・興味・関心・意欲）
2)生命に対する健全な倫理観をもち、弱者に対する奉仕と思いやりの精神をもっている。
3)保健衛生、医療福祉に対する関心が高く、この分野に貢献したいという目的意識をもっている。
4)生涯にわたり自己啓発・自己学習を継続する意欲をもっている。

（技能・表現）

5)誠実さと協調性をもって他者と接することができる。
6)自分の考えや行動に責任をもち、それを相手に明確に示すことができる

以上の素養を、一般入試、共通テスト利用入試、共通テストプラス入試については、各選抜試験で上記 1）について評価し、調査書で上記 2）～6）について評価しています。医療職連携の適性を重視したアセンブリ入試では上記 1）～6）の全てについて評価をしています。また、学校推薦では上記 2）～6）に重きをおきますが、1）の評価も加味します。保健衛生学部では、このようにさまざまな選抜試験を行い、それぞれの試験で総合的に評価します。

（禁煙への取り組み）

藤田医科大学では、人々の健康を守る医療職者を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：藤田医科大学ホームページで公表
【医学部・医療科学部・保健衛生学部】
https://academy.fujita-hu.ac.jp/about/outline.html#hdg3

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
―	4 人	―					4 人
医学部	―	138 人	100 人	180 人	390 人	172 人	980 人
医療科学部	―	18 人	24 人	10 人	10 人	2 人	64 人
保健衛生学部	―	18 人	12 人	33 人	29 人	3 人	95 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	415 人	415 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：藤田医科大学ホームページで公表 https://www.fujita-hu.ac.jp/about/educational-info.html

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
医学部	120 人	120 人	100%	720 人	748 人	103.9%	0 人	0 人
医療科学部	230 人	247 人	107.4%	920 人	947 人	102.9%	0 人	0 人
保健衛生学部	250 人	286 人	114.4%	1,000 人	1,068 人	106.8%	0 人	0 人
合計	600 人	653 人	108.8%	2,640 人	2,763 人	104.7%	0 人	0 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
医学部	113 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	113 人 (100%)
医療科学部	221 人 (100%)	32 人 (14.5%)	181 人 (81.9%)	8 人 (3.6%)
保健衛生学部	246 人 (100%)	11 人 (4.5%)	233 人 (94.7%)	2 人 (0.8%)
合計	580 人 (100%)	43 人 (7.4%)	414 人 (71.4%)	123 人 (21.2%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
藤田医科大学病院・名古屋大学医学部附属病院・刈谷豊田総合病院他
藤田医科大学大学院保健学研究科

（備考）
・＜医学部 卒業者内訳＞
初期臨床研修医：110 名（97.3%）
・「その他」は国試不合格者、未内定者、活動中、進路不明者

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

【医学部】

学生の卒業時における質の確保を図るため、卒業認定・学位方針(ディプロマー・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、当該授業科目との整合性・関連(役割)に基づいた授業計画と科目間の繋がりを示す「カリキュラムマップ」を作成、科目ごとに講義の目的を示す「教育目標」、身につける能力を示す「学修目標」および講義毎の「到達目標」、「評価方法」および「評価基準」、課題の「フィードバックの方法」、「講義形式」、「事前事後学修の時間数と内容」、「オフィスアワー」、等を明示しシラバスに反映している。

シラバスの作成においては、整合性・妥当性・適切性等について教務委員長による第三者チェック行っている。

作成したシラバスは、藤田医科大学ホームページ及び学生ポータルサイトで公開している。

またシラバスの作成方法に関する FD を実施している。

【医療科学部】

学生の卒業時における質の確保を図るため、卒業認定・学位方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、当該授業科目との整合性・関連(役割)に基づいた「授業計画書（シラバス）」および各授業科目間の対応関係や履修・学修における道筋を示した「履修系統図」を作成している。

また、各講義の「到達目標」、「評価方法」および「評価基準」、課題の「フィードバックの方法」、「講義形式」、「事前事後学修時間とその内容」、「オフィスアワー」等をシラバスに明示しシラバスに反映している。

シラバスの作成においては、シラバスの作成方法に関する FD を実施している。また、各分野長及び教務委員にて、編集上のチェックに留まらず、カリキュラム方針に基づき各科目の内容が適正であるか第三者チェックを行っている。

作成したシラバスは、藤田医科大学ホームページ及び学生ポータルサイト(学生向け学務情報提供サイト)で毎年、年度始めに公開している。

【保健衛生学部】

学生の卒業時における質の確保を図るため、卒業認定・学位方針(ディプロマー・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、当該授業科目との整合性・関連(役割)に基づいた授業計画と図示した「履修系統図」を作成、科目ごとに講義の目的を示す「教育目標」、身につける能力を示す「学修目標」および講義毎の「到達目標」、「評価方法」および「評価基準」、課題の「フィードバックの方法」、「講義形式」、「事前事後学修の時間数と内容」、「オフィスアワー」、等を明示しシラバスに反映している。

年間授業計画については教育課程ごとにカリュキュラム委員会を設置し、教育課程体系・教育課程の検証・授業方法等を包括的に検討し、上層の教務委員会に報告をしている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

【医学部】

学生の評価についての原理、方法および実施について、藤田医科大学学則(P7、第 27 条～第 30 条)、藤田医科大学医学部規定(P13、第 5 条～第 7 条)、藤田医科大学医学部学生心得および規程(第 6 章第 23 条～第 34 条)、各学年のシラバスに記載されている。

履修科目は 100 点満点で採点され、S(90 点以上 100 点以下),A(80 点以上 90 点以下)、B(70 点以上 80 点未満)、C(60 点以上 70 点未満)、D(60 点未満)で評価し、60 点以上が合格である(藤田医科大学医学部規程第 5 条)。

また、履修科目の成績判定には、試験の成績に受講および実習態度を加味して判定する(藤田医科大学医学部学生心得および規程第 31 条)。試験の方法は筆答、口答、レポート提出、実地試問等である(同第 26 条)。

各科目の成績判定方法は、各学年のシラバスに明示し、各々の到達目標、評価法、評価基準に基づき学修成果を測定し、厳格かつ適正に単位を授与している。

修了の認定に当たっては、大学の教育理念に基づき、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を策定し、卒業認定に関する方針の具体的な内容及び適切な実施については、「藤田医科大学学則」に則って医学部の定める授業科目をすべて履修し、卒業試験のほか医学部の指定する試験に合格した者に卒業資格を与えている。卒業試験は、その試験の難易度や、その他一切の事情等を総合的に評価した上で合否を判定する。

卒業認定に関する方針は、各学年のシラバスに明記され、ホームページ及び学生ポータルサイト上で公表している。

【医療科学部】

授業計画(シラバス)に記載している到達目標、評価法、評価基準に基づき、学修成果を測定している。

(到達目標)授業科目を学生が学修することにより成果として得られる知識・理解、思考・判断、関心・意欲、技能・表現などの面での到達目標を授業計画(シラバス)に記載している。

(評価法)授業科目の成績(評価点)は、到達目標に対する達成の度合いを示している。その度合いをどのような手法で測定するのかを表す評価手法・種別(定期試験、実技試験、受講態度、小テスト、レポート等)と、それぞれが最終評価に占める割合(%)を授業計画(シラバス)に記載している。

(評価基準)到達目標に対して、どの評価方法を用いて到達度を測るか、さらに達成の度合いを測定するポイントなどを授業計画(シラバス)に記載している。

また、藤田医科大学学則(第 27 条～第 30 条)及び医療科学部規程に則って、厳格かつ適正に評価して単位授与している。なお、履修科目は 100 点満点で採点され、S(90 点以上 100 点以下),A(80 点以上 90 点未満)、B(70 点以上 80 点未満)、C(60 点以上 70 点未満)、D(60 点未満)で評価し、60 点以上が合格である。

修了の認定に当たっては、大学の教育理念に基づき、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を策定している。

【保健衛生学部】

授業計画(シラバス)に記載している到達目標、評価法、評価基準に基づき、学修成果を測定している。

(到達目標)授業科目を学生が学修することにより成果として得られる知識・理解、思考・判断、関心・意欲、技能・表現などの面での到達目標を授業計画(シラバス)に記載している。

(評価法)授業科目の成績(評価点)は、到達目標に対する達成の度合いを示している。その度合いをどのような手法で測定するのかを表す評価手法・種別(定期試験、実技試験、受講態度、小テスト、レポート等)と、それぞれが最終評価に占める割合(%)を授業計画(シラバス)に記載している。

(評価基準)到達目標に対して、どの評価方法を用いて到達度を測るか、さらに達成の度合いを測定するポイントなどを授業計画(シラバス)に記載している。

また、藤田医科大学学則(第 27 条～第 32 条)及び保健衛生学部規程に則って、厳格かつ適正に評価して単位授与している。なお、履修科目は 100 点満点で採点され、S(90 点以上 100 点以下),A(80 点以上 90 点以下)、B(70 点以上 80 点未満)、C(60 点以上 70 点未満)、D(60 点未満)で評価し、60 点以上が合格である。
修了の認定に当たっては、大学の教育理念に基づき、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を策定している。
卒業の認定に関する方針の具体的な内容及び適切な実施については、藤田医科大学学則に則って行っており、卒業要件(卒業必須単位)等、総合的に評価し、教授会において卒業認定を行い、学長に承認を得ている。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
医学部	医学科	213 単位	有・無	単位
医療科学部	医療検査学科 臨床検査ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	125 単位	有・無	単位
	医療検査学科 臨床工学ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	125 単位	有・無	単位
	放射線学科	125 単位	有・無	単位
保健衛生学部	看護学科	124 単位	有・無	単位
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科 （理学療法専攻）	135 単位	有・無	単位
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科 （作業療法専攻）	134 単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：藤田医科大学ホームページで公表
https://www.fujita-hu.ac.jp/about/map.html
https://www.fujita-hu.ac.jp/about/edu-facilities/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
医学部	医学科	2,500,000 円	1,500,000 円	2,300,000 円	その他内訳（実験実習教材費、教育充実費）
医療科学部	医療検査	800,000 円	300,000 円	550,000 円	その他内訳（実験実習教材費、教育充実費）
	放射線	800,000 円	300,000 円	550,000 円	その他内訳（実験実習教材費、教育充実費）
保健衛生学部	看護	800,000 円	300,000 円	600,000 円	その他内訳（実験実習教材費、教育充実費）
	リハ	800,000 円	300,000 円	600,000 円	その他内訳（実験実習教材費、教育充実費）

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） **1. 奨学金制度** （1）学校法人藤田学園奨学金貸与制度（全学部共通） （2）藤田学園同窓会奨学金貸与制度（全学部共通） （3）成績優秀者奨学金制度（医学部） **2. 藤田医科大学在学生学業奨励奨学金給付（医療科学部・保健衛生学部）**
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 学生支援課にキャリア支援部門を設置し、学生の就職支援を実施している。 3 年次 7 月、2 月に就職ガイダンスを開催。就職ガイドブックの配布を行っている。 教職員が就職実績のある全国の各施設・企業を訪問し、卒業生の定着確認、求人開拓を実施している。その他、希望者に向けた指導を（履歴書添削・面接対策等）行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） **1. 学生相談室** 学生生活におけるさまざまな悩みの相談にカウンセラー（臨床心理士）が応じている。 **2. 健康管理室** 学生が身体に不調を感じた場合、必要であれば病院の各診療科と連絡を取り受診の手続きを案内する。「心の健康」に関しては学生相談室と連携を取って対処している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：藤田医科大学ホームページで公表 https://www.fujita-hu.ac.jp/about/educational-info.html

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F123310106826
学校名	藤田医科大学
設置者名	学校法人　藤田学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		117人	108人	120人
内訳	第Ⅰ区分	62人	68人	
	第Ⅱ区分	35人	23人	
	第Ⅲ区分	20人	17人	
家計急変による支援対象者（年間）				―
合計（年間）				122人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人		
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	―		
計	―		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期	

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	―		
ＧＰＡ等が下位４分の１	19人		
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	―		
計	20人		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。